



妻北っ子だより

令和3年度 2学期終業日号 文責 校長

良い新年をお迎えください

明日から冬休み。

クリスマス、餅つき、大そうじ、大晦日、元旦・・・と年末年始の行事やイベントが目白押しです。

忙しさも増してくる時期でもありますが、可能であれば、子どもたちと共に過ごしたり、手伝いをさせたりする中で、行事・イベントそれぞれの意義や意味を考えさせることができるといいですね。



「好奇心」をくすぐっていますか？

先日、市の校長研修会において「好奇心（こうきしん）」をテーマに講話を聴き、妻高校生とのクロストークに参加しました。

「おもしろそうだな」「やってみたいな」「自分でもできそうだ」「学習したことが普通の生活に活かさないかな？」「こんな（別の）考え方（やり方）はできないかな？」

みなさんもこんな感情を覚えたことはありませんか？

子どもたちは、私が何気なく言葉をかけると、学習のことや家庭での出来事を「なぜ？」「どうして？」を交えて、質問してくることがあります。

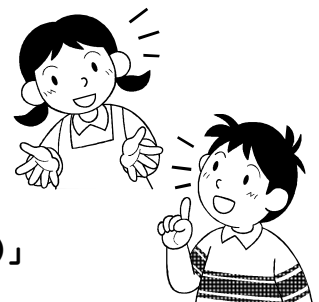
そんな姿に「好奇心の塊（かたまり）」という言葉を実感している毎日です。

この好奇心は、「一見無関係に見えるこちら側の知識とあちら側の知識をつなげることのできる力（想像力・創造力）」や「一見愚かなアイデアでも、やると決めたら何としても実現させる力（実行力）」のエネルギー源となり、農業や科学技術の発達をうながし、文化や文明の発展を支えてきました。

先行き不透明な時代と言われる中、子どもたちを「想像力・創造力」や「実行力」を持った人材に育成していく必要があります。また、様々な職場ではそのような人材が求められています。

学校教育（特に小学校）では、保護者や地域の方々と連携し、「読み書き計算」に代表される基礎学力を定着させることや、集団生活における規律や基本的なマナー・スキル等を身に付けさせることに重点が置かれている現状です。

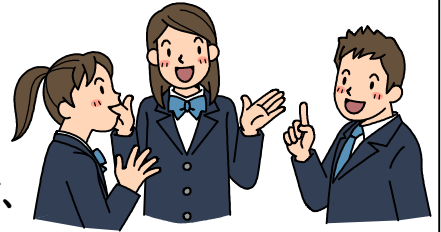
それらについては、責任と使命感をもって取り組まなければならないことと自覚していますが、今回の講話を聴いて、学校の授業やご家庭での生活の中で『「好奇心」をくすぐる（くすぐられる）』経験をひとつでもふたつでもできないものか？という感想を持った次第です。



「高校生の話を聞く」

今度は、妻高校生とのクロストークに参加したお話です。

妻高校の校長先生と3年生3名がテーブルにつきましたが、何とそのうち2名が妻北小の出身でした。



基本的には、高校を選んだ理由、高校で学んだこと、将来の職業観等について、それぞれから話をしてもらい、私たちから質問を投げかけていく形式でしたが、よどみなく自らの選んだ言葉を使い、聞き手にも理解しやすく語っていただきました。

また、はにかみながらも質問を受け容れ、表情豊かに回答を返す姿勢も見られ、約40年前の高校生だった自分を振り返り、比較にならないくらいすごい人材が育っていることを実感しました。

最後に、「自らの小・中学校時代を振り返り、各学校でこんな力をつけて欲しい（欲しかった）、こんなことができるようにして欲しい（欲しかった）ことはないか」という問いについて、

「?をもつ力と深く考える力」

「各教科まんべんなく知識や技能を身に付けたかった」（総合的な力を付けたかった）

「次の学校での学びや生活を知らせ、見通しを持たせて欲しかった」

「教え合いや学び合い学習の仕方を知っておきたかった」

と回答していただきました。

シンプルに回答したように表記していますが、市内全ての小中学校長が、うなずきながらメモを取ろうとするぐらいの説得力のある回答内容でした。

今回は個人的にも「好奇心をくすぐられる」研修会でした。

今後は、高校とも連携し、高校生が妻北小児童と交流する機会も設けていきたいとも考えた次第です。

お知らせ

12月16日（木）。

株式会社ダイナムさんの社会貢献活動の一環として、市教育委員会を通じて「光触媒（ひかりしょくばい）スプレー」を寄贈していただきました。

光触媒は、光によって活性酸素を発生させ、有害物質や最近ウィルスを分解し、無害化する酸化分解力があります。

新型コロナウイルスに対する研究では、散布1時間で99.7%の減少、暗所でも4時間で99.99%の減少が確認されているそうです。

また、散布後5年は効果が継続し、ふだんは水拭きだけで済むというお話でした。

早速、全職員で児童用の机・椅子、水道の蛇口、スイッチ、トイレなどへの散布作業を行いました。

とは言え、油断大敵です。

マスク着用、換気、密を避ける、手指消毒等の対策は、今後も継続して行っていくしますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

